

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぶちぶちすばる/きらきらすばる
------	-----------------

公表日 2026年3月30日

利用児童数 19名 (18世帯)

回収数 15

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2		1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1			1日の予定がホワイトボードに記されており、見通しを持つことができ、本人の安心につながっている		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	14			1	様々な活動を工夫してもらい楽しんでいます		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が作成されていると思いますか。	14				1	計画は本人の特性、関わりを詳細に書かれており親も参考になる	
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1			1		
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	15						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				1	様々なイベントで親だけでは経験させてあげられないことをしてもらい感謝している	今後もいろいろな体験ができるような活動を検討していきます
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	7			(ぶちぶち) 今後、子育て広場利用予定ですが、(きらきら)と一緒に活動をする予定はないですが、散歩中などに小中学校の子供たちと挨拶を交わしたり、公園で交流を持ったりしています。
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1					
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1			2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	15						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15						

(きらきらすばる)

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1		4		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		1	今まで事故やケガがないためわからな	事故やケガがあった場合、迅速に対応させていただきます。事故等ないよう注意していきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぶちぶちすばる/きらきらすばる
------	-----------------

公表日 2026年3月30日

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	3	トイレ誘導の優先順位を考え支援しています	トイレの数が少ない スペースに余裕が欲しい
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	5		職員確保のため求人を行っています	利用者の人数に対して職員数が合わないときがある。 看護師不足
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		浴室内に関しては、利用者の安全面（転落等）を考えると広すぎず良いのではないかと思います。	トイレ、風呂が狭い
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	3	今後、工夫し個別スペースを確保できるよう検討します	個別のスペースが作れるスペースがない
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		3		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		3		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		4		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	4		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		3		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		3		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	6		3		
	13 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		4		
	14 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		4		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		3		
	16 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		3		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		3		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		3		

(きらきらすばる)

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7		2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		2		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	4		
	24	【放デイ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	5		4		
	25	【放デイ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		3		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		3		
	28	【児発】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		3		
	29	【放デイ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9				
	30	【児発】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		2		
	31	【放デイ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		3		
	32	【放デイ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		4		
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		4		
	34	【児発】保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	3		
	35	【放デイ】放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	3		
	36	【放デイ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		4		
	37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9				
	38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	4	病院からの家族向け研修（医療ケア）のお知らせ等を配布しています	
	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		2		

(きらきらすばる)

保護者への説明等	40	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	4		
	41	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の同意を得ているか。	6	3		
	42	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	定期的には年度末に面談を行っています。他、送迎時や連絡帳、メール等のやり取りなど行っています。	定期的に行っているかわからない
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3		
	44	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2		
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	47	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	2		
	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		
非常時等の対応	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	50	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			
	52	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3		
	54	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	3		
	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	3		
	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に記載しているか。	4	5		

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ぷちぷちすばる/きらきらすばる（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		～	2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		～	2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日中活動内でいろいろな体験を通して発達につなげていく	できるだけ屋外に出て季節を感じたり公園での遊具遊びを行い五感の発達を促している	室内に置いても発達につながる活動を楽しく行えるよう工夫していく
2	小学校入学に向けて活動中に機能訓練を取り入れ自身でできることを増やしていく	日常生活動作の小さな動きでも自身でできることを増やし成功体験を実感できるよう促している。職員間で同じ介助を行うよう周知している	職員同士の情報共有を密に支援に役立てていく
3	利用者や保護者のニーズや成長に合わせ支援を行っている	保護者との面談や利用者本人の状態を観察しながら必要な支援を行っている	家庭での様子や機能訓練の訓練状況など情報収集を行い支援に生かしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や認定こども園、幼稚園との交流や地域の他のこどもと活動する機会があまりない	散歩中などに保育園の園児たちとすれ違う際に挨拶を交わすくらいの関わりしかなくコミュニケーションをとる機会がない	地域の行事などに参加できる機会を設ける。また、こどもたちとコミュニケーションがとれるよう保育園等の解放の行事がある際に参加できるよう計画する
2	保護者同士、きょうだい同士で交流する機会を設ける支援が少ない	保護者、きょうだい参加可能な行事があるが、保護者会などを行う機会がない	行事内でも交流が持てるよう配慮する必要がある
3	活動スペースが狭い	利用者の人数によって車椅子利用のため室内が狭くなってしまう	収納を工夫しできるだけ広く使えるよう工夫する

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぷちぷちすばる/きらきらすばる（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行事等でいろいろな体験を提供し心身ともに成長を促し、世界観を広げていく。	車椅子利用されているお子さんもいろいろな体験ができるよう考えている	楽しめる行事ができるよういろいろな情報を得る
2	活動中に機能訓練を取り入れ自身でできることを増やしていく	日常生活動作の小さな動きでも自身でできることを増やし成功体験を実感できるよう促している。職員間で同じ介助を行うよう周知している	職員同士の情報共有を密に支援に役立てていく
3	利用者や保護者のニーズに合わせ支援を行っている	面談や学校での自立活動内容などニーズを聞き利用者本人の状態を観察しながら支援している	学校での状態や家庭での様子の情報収集を行い支援に生かしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館、地域の他のこどもと活動する機会が少ない	散歩中などに下校時のこどもたちとすれ違う際に挨拶を交わすくらいの関わりしかなくコミュニケーションをとる機会がない	地域の行事などに参加できる機会を設ける。また、こどもたちとコミュニケーションがとれるようボランティアなど積極的に受け入れ行う必要がある
2	保護者同士、きょうだい同士で交流する機会を設ける支援が少ない	保護者、きょうだい参加可能な行事があるが、保護者会などを行う機会がない	行事内でも交流が持てるよう配慮する必要がある
3	活動スペースが狭い	利用者の人数によって車椅子利用のため室内が狭くなってしまう	収納を工夫しできるだけ広く使えるよう工夫する